

東京2020オリンピック聖火リレー

大分県を走るのは

# 聖火ランナー募集

4/24・25

大分県で開催される東京2020オリンピック聖火リレーの聖火ランナーを、以下のとおり募集します。

■募集数 **22人** (予定) ■募集期限 **8月31日(土)**

■主な応募資格

- ・2008年4月1日以前に生まれた人 (2020年4月1日時点で中学1年生以上)
- ・国籍、性別関係なし ・大分県にゆかりがある人
- ・第三者の推薦がある人 ・国会議員、地方公共団体の議員・首長などは対象外

■応募方法

①大分県ホームページから所定の応募フォームで申込み ②応募用紙を郵送

■申込先

〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号

東京2020オリンピック聖火リレー大分県実行委員会 (大分県企画振興部芸術文化スポーツ振興課内)

※12月以降、大分県実行委員会から当選の速報を連絡します。その後、東京2020組織委員会から、当選者にのみ当選通知を発表します。落選者には通知を行いません。

※詳細は東京2020オリンピック聖火リレー大分県実行委員会にお問い合わせください。

☎東京2020オリンピック聖火リレー大分県実行委員会 (大分県企画振興部芸術文化スポーツ振興課内)

☎097-506-2085

スポーツ振興課スポーツ振興係 ☎②8442 (市役所別館2階)

TOKYO 2020  
OLYMPIC TORCH RELAY  
Hope Lights Our Way  
希望の道を、つなごう。  
2020.4.24-25  
大分県実行委員会

OLYMPIC TORCH RELAY  
TOKYO 2020

市長コラム

## 坂の上の雲を探して

64

公務員の不祥事。全国の自治体で後を絶ちません。かく言う日田市においても、このような事案が発生しており、市民の皆様には多大な不安と不信感を与えていること、誠に申し訳なく、ざんきの念に堪えません。

これまで起きた事案を振り返ると、多くは「うっかりミス」や「怠慢」などで、職場において防ぐことができたものが多く見られます。聞き取りをすると「なぜ?」と思われることが大半で、往々にして「緊張感の欠如」に起因しているものが多く、併せて「抱え込む、隠す、先送りする」など、個人の資質に起因するものも散見されます。しかし、市役所としては、個人の資質に帰するだけでなく、組織内での情報や意識の共有が徹底されていれば防げる事案で、組織の問題として捉えるべき課題と考えています。

近年、膨大な残業時間などが問題となっており、いわゆるブラック企業といわれる就業実態のある職場が問題となっています。公務員の世界でも同じような事態が発生しており、過労死などの問題も発生しています。このような中、先日、中央官僚の若手職員たちによる「ホワイト官僚宣言」なるものが発信されました。同じ公務員でも、中央省庁の事務は激務を極めていることでも有名で、1か月に200時間を超える残業があると聞きます。そのような職場環境を改革し「自分、家族、同僚、国民を愛し、その幸せの実現を考えている」ことを大前提とし、様々な働き方・職場づくりを推進していこうというものです。職員自ら、自立と自律の志を持ち、自らの人生の充実と、職務に対する責任とを両立するための改革宣言だと感じています。風通しの良い職場、支え合う信頼関係、そして高い志。これらのことが、不幸な事案や不祥事をなくすことになるのではないかと、改めて思うところがあります。

コンプライアンス(法令遵守)は当然のこととし、ブラックではない職場をつくっていきます。

